

## 2018・中学校「一〇五度」

- この本を選んだ理由は、だからです。
- 主人公の真の、なところが
- 共感できました。/好きになりました。/自分に似ているなと思いました。/友だちにはなれないなと思いました。
- なぜならだからです。
- 私が一番好きな登場人物は〇〇〇〇〇〇です。なぜなら、だからです。
- 一番好きに慣れない登場人物は〇〇〇〇〇〇です。なぜなら、だからです。
- 真と梨々の共通の趣味はイスです。私はだと思いました。
- 真は好きなイスのデザインを反対されないように一生懸命に勉強をします。私はだと思いました。
- それなのに真のお父さんは、でした。
- (がんばったのに理解してもらえない / 認めてもらえない / ほめてもらえない体験) ということがありました。
- 私はそのとき、だと思いました。
- 真はまだ中学生 / 梨々は女だという理由で、家族にになりたいという夢を理解してもらえません。
- 自分の夢 / 考え / 気持ちを身近な人に理解してもらえないということは、だと思いました。 / と感じました。
- だから真 / 梨々の気持ちが、少しだけ / ちょっと / なんとなく / すごく / 自分のことのようにわかりました。
- この物語にはデザイナーの夢だけでなく、現実の大変さも書かれています。だと思いました。 / と感じました。
- 真のお父さんが反対するのは、だからだと思います。
- この本の題名の一〇五度とは、p125 ~、p136 ~という意味です。
- 私も、(みんなと / お互いに協力し合った、支えあった、助けてもらった体験)ということがありました。
- 本を読む前は、だと思ったけど、
- この本を読んだことで、と思うように / 考えるようになりました。
- これからは、したいと思います。